

京 都 大 学

教 育 学 部 紀 要

XXXVI

アメリカ合衆国における人種偏見と別学制度——Briggs 対 Elliott 事件の判決から——

ケルシェンシュタイナーの教科課程論(I)

第三次小学校令期の教授・訓練と教育評価

視聴覚教育と認知心理学

幼児の空間的自己中心性(I)

——Piaget の「3つの山問題」とその追試研究——

フランス近代大学確立期における

「教授の独立 (l'indépendance des professeurs)」原則の構成

人間形成における「禁欲」(Askese) の必要性について——A・ゲーレンの人間学を通じて——

処理容量と記憶——批判的検討——

現代社会における科学と産業——産学協同論のフレームワーク——

現代アメリカ教育行政学における「批判的理論」

ストループ干渉課題の処理過程をめぐる問題

汚れと排除——強迫神経症における封印された母性原理——

青年期女子における「結婚」像の変容について

京都大学教育学部紀要 XXXVI

目 次

論 文：

アメリカ合衆国における人種偏見と別学制度 ……………白石 裕 1 —Briggs 対 Elliott 事件の判決から—	
ケルシェンシュタイナーの教科課程論(I) ……………山 崎 高 哉 14	
第三次小学校令期の教授・訓練と教育評価 ……………天 野 正 輝 43	
視聴覚教育と認知心理学 ……………坂 野 登 70	
幼児の空間的自己中心性(I) ……………子 安 増 生 81 —Piaget の「3つの山問題」とその追試研究—	
フランス近代大学確立期における 「教授の独立 (l'indépendance des professeurs)」原則の構成 ……………石 村 雅 雄 115	
人間形成における「禁欲」(Askese)の必要性について ………宮 嶋 秀 光 124 —A・ゲーレンの人間学を通じて—	
処理容量と記憶 ……………高 橋 雅 延 143 —批判的検討—	
現代社会における科学と産業 ……………澤 田 芳 郎 163 —産学協同論のフレームワーク—	
現代アメリカ教育行政学における「批判的理論」 ……………川 島 啓 二 185	
ストループ干渉課題の処理過程をめぐる問題 ……………石 王 敦 子 194	
汚れと排除 ……………金 山 由 美 206 —強迫神経症における封印された母性原理—	
青年期女子における「結婚」像の変容について ……………川 畑 佳 子 214	

平成元年度修士論文

氏 名	論 文 題 目
杉 浦 功	山川均の社会運動思想における教育
横 山 八千代	アメリカの教員現職教育に関する一考察 —コース履修型からワークショップへの移行を中心として—
梅 澤 啓 一	8歳児の造形表現活動における色彩に関わる美的感性発達のメカニズム研究
児 玉 衣 子	「系統的保育案」における誘導保育と課程保育との関連について —倉橋惣三の誘導保育論にもとづいて—
齊 藤 智	作動記憶における構音過程の実験的・理論的検討 —音韻的類似性効果をめぐって—
薬師院 仁 志	資本と教育 —学歴消費社会の誕生—
劉 恩 慈	支配装置としての「科学」
谷 川 至 孝	1970年代以降英国全国教員組合の教育政策形成関与の展開 —教員団体の二面的性格と関わって—
宮 川 正 治	「幼児同士の葛藤状況における相互作用の発達的变化」
茂 木 洋	青年期における自己と自我理想の形成について
石 谷 真 一	青年期後期から成人期にかけての日本人男性の同一性と親密性に関する研究
伊 藤 俊 樹	美術専攻学生の自我のあり方について —主として退行及び自我境界という観点より—
金 光 靖 樹	臨床教育学の理論とその脱中心化にかんする試論
進 藤 貴 子	老年期痴呆患者の心理療法過程 —ユーモアを手がかりとした痴呆患者のディグニティーと継承の視点から—
中 川 純 子	青年における孤独心性の様相 —孤独感尺度(LSO)と東大式エゴグラム(TEG)と 孤独感の体験の意味を問う質問紙を用いて—
名 取 琢 自	身体感覚に基づく非言語的表現 —指押し反応の基礎的研究—
仁 里 文 美	心理療法の観点から見た枠の効果とその意味 —枠づけ二枚法のバウムテストを用いて—
吉 岡 恒 生	欲求不満場面にみられる overt speech と covert speech の交互作用と自我機能との関連についての研究

平成元年度卒業論文

氏名	論文題目
柏原全孝	ベンヤミンの遊び論と思想
北方伸樹	タイ国教育改革の農村部における影響
南部広孝	中国の高等教育の変動 —文化大革命後の発展と課題
上阪久仁子	ルドルフ・シュタイナーの人間観と認識法の考察
今村光章	新しい消費者教育を求めて —E. Fromm を手がかりとして—
中沢隆夫	ドイツ民主共和国における総合技術教育の発展 —歴史と抱える課題
平井俊久	ニーチェについて —ニヒリズムの由来と克服—
三藤聡	戦後日本の学校教育における性教育の歴史と現在 —性別役割分担論批判を軸に一
横井靖男	アジアの発展途上国におけるノンフォーマル教育について
加納正賀壽	ヤスパースにおける交わり
大場真保子	幼児期後期の協同作業場面における相互交渉の特徴
小野泰弘	英語学習におけるヒアリングについて
木村真理	幼児期後期の役割決定場面における話し合いの発達の特徵
高橋暢晴	アイズナー (E. W. Eisner) の教育評価論について
永富理枝子	古典の教育的価値について ～古典を文語文で学習する意義～
松田彩子	2歳児をもつ母親への食生活指導の課題 —加工食品利用状況の調査を基に一
吉岡利浩	離乳期の咀嚼発達
阿部一美	老年期の自己概念と居住環境 —質問紙と養護老人ホーム入居者との面接をとおして—
石川太一	文法文および非文法文の理解における語順・助詞・格の効果
大塚浩	非日常意識の実体験およびそれによる日常意識の変容 —ホロトロピック・セラピーを用いて—
岡崎宏	学級集団における勢力資源とその性差について
蔭山みつる	青年期後期から成人期初期にかけての親密性獲得過程に関する研究
加藤左和	Narcissism と自我状態
木野久子	自己開示性についての一考察 —開示欲求と開示経験の差から—
佐々木豊	読解におけるメタ認知と独立・順応達成傾向について
曾我多佳	小学生・中学生の親子関係における依存性
鷹尾麻貴子	老人ホーム入居者の生活と意識に関する一考察 —面接調査法を用いて—
高森淳一	前青春期の父子関係 —質問紙とバウム・テストを用いて—
田中小百合	大学生における対人魅力についての研究 —自意識尺度を用いて—
太山陽子	情動を表すメタファーについての子供の理解

富野 智恵子	発語思考法による「3 囚人問題」の解決過程の分析
中村 太郎	男子大学生における父母との同一視のあり方と性役割についての考察
林本 浩子	女子青年の性同一性と両親像 —父娘関係を中心に—
藤田 哲也	記憶負荷が符号化時の処理に与える影響 —共存課題と知覚同定・再生・再認との関係—
松山 一紀	アンドロジニー概念 —今後の展開のための—考察—
松山 晴子	呼称の研究 —親子関係を中心とした発達の研究の試み—
水上 泰信	「笑い」についての—考察
森本 繁生	グリム昔話の残酷性と just-so-ness についての心理学的研究
安野 律子	思春期・青年期女子のボディ・イメージ —摂食障害とセルフ・エスティームの観点から—
脇田 雅美	幼児の人物画における方向の表現 —重力の軸の設定とその参照能力にみられる発達の変化—
田中 眞	中学生に対する作文指導 —量的特徴に注目して—
西村 則昭	念仏生活者への心理学的アプローチ —浅原才市の日記帳をめぐる
安藤 昌明	児童のもつ他国民に対する偏見について —接触の程度と RIGIDITY の影響—
入野 隆久	特性不安および公的自意識が課題遂行に及ぼす影響について
大塚 文夫	大衆心理としての「科学」 科学の俗信的側面に関する一試論
松本 葉子	児童期から前青年期の自己像に関する—考察
三嶋 亜古	視覚的感覚記憶内の情報処理
三島 卓司	『青年期における孤独感と心理的問題』
吉村 直子	出生順位による養育態度のとらえ方、及び性格傾向の関連性について
稲井 敏員	漱石における修善寺大患の意味 —Maternal Deprivation 理論に関する—考察—
表井 立美	女子学生の食行動と身体に対するイメージ
北村 寿	対人的な態度変容とパーソナリティ
薄井 淑子	ヴァージニア・ウルフの世界 —心理学的観点から—
小川 聡	赤ちゃんと生きている死者たち —現代ホラー映画における恐怖の構造の変化
飯田 昌幸	高等学校における国語科教育と学校図書館とのかかわり
上田 慶行	1990年代のアナウンサー像
大門 力男	人事は今… 日本的人材管理のゆくえ
布施田 有里	教育をめぐる外部諸力の作用について ～アメリカの教育変動を考察して～
松尾 稔	試験に関する—考察
森 康枝	オンライン情報検索の問題点 —小説検索システム作りを通して—
秋山 千佳	E. ゴッフマンを読む —自己・枠組・類型に光を当てて—

板橋 陽	アメリカのヘルスサイエンス図書館での相互協力の発展
小國 綾子	イギリスの成人教育 労働者教育協会 (WORKERS' EDUCATIONAL ASSOCIATION) の戦後に見られる諸変化の考察
小林 卓	在日韓国・朝鮮人に対する図書館サービス —公共図書館の場合
野村 勝美	日本の家族の情況 —父親の「存在」にふれつつ—
山口 健二	教育と組織の社会学 —ウェーバーの近代教育論とマイヤーの現代教育論
金子 勉	西ドイツの大学における意思決定機関の構成原理
原 佐知	我が国の科学政策における現状と課題 —文部省の果たす役割に着目して—
福西 清次	学生減少期を控えた私立大学経営
安坂 健士郎	高校生の立場からみた教育の一環としての大学入試制度の検討 —大分県立中津南高校におけるアンケート調査から—
雲尾 周	教育長の属性にみる地方教育行政の問題状況 —都道府県・政令指定都市教育長の資料分析を通じて—
酒見 升久	大学における懲戒手続に関する問題点と提言

編集委員	岡田 渥美	天野 正輝	岡田 康伸
	原田 勝	白石 裕	
編集員	宮嶋 秀光	鋒山 泰弘	高橋 雅延
	濱野 清志	澤田 芳郎	石村 雅雄

平成2年3月25日 印刷

平成2年3月31日 発行

発行人 京都大学教育学部
代表者 松村 一範

印刷所 株式会社 文功社
京都市南区上鳥羽唐戸町103

発行所 京都大学教育学部
京都市左京区吉田本町

Kyoto University Research Studies in Education

XXXVI

Contents

- The Racial Prejudices and the Segregation in Public Schools in the United States :
From the Federal Court Decision of Briggs et al. v. Elliott et al.SHIRAISHI Yutaka
- Georg Kerschensteiners Lehrplantheorie (I).....YAMAZAKI Takaya
- The Educational Evaluation for Instruction and Training
under the Act of Elementary School (1900)AMANO Masateru
- Audio-visual Education and Cognitive PsychologySAKANO Noboru
- Spatial Egocentrism in Young Children (I) :
Piaget's "Three-mountains Task" and the Replication StudiesKOYASU Masuo
- A Study on the Principles of "l'indépendance des professeurs"
in the Establishing Era of French Modern UniversitiesISHIMURA Masao
- Von der menschenbildenden Bedeutsamkeit der Askese :
Durch eine Analyse der Philosophischen Anthropologie A. Gehlens...MIYAJIMA Hidemitsu
- Processing Capacity and Memory : A Critical ReviewTAKAHASHI Masanobu
- Science and Industry in the Contemporary Society : A Framework for
the Analysis of Industry-University CooperationsSAWADA Yoshiro
- "Critical Theory" : A Branch of the Recent Study of
Educational Administration in the United StatesKAWASHIMA Keiji
- Some Issues on the Locus of Stroop Interference.....ISHIO Atsuko
- Impurity and Repudiation :
The Sealed Principle of Maternity on Obsessive-compulsive Neurosis...KANAYAMA Yumi
- A Study on the Transformation of the Image of "Marriage"
of the Young Women..... KAWABATA Yoshiko

The Faculty of Education
Kyoto University
March, 1990